

企業で活躍する博士人材ロールモデル事例集（仮）



資料 1

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

趣 旨

- 博士人材の多様なキャリアパスの開拓を推進するためには、博士課程学生が多様なキャリアパスの存在を知ることが重要である。
- そこで、**産業界で活躍している多様な博士人材ロールモデルを取りまとめた事例集を作成し**、ホームページ上での公開や大学等への送付によって、**博士課程学生に産業界における多様なキャリアパスを知ってもらうことを目指す。**
- 採用情報なども併記するなど、企業が博士人材の採用やキャリア形成において参照できる事例集とすることで、産業界における**多様な分野での優秀な博士課程学生の採用を促進する。**

現状（博士課程学生目線）

- 博士課程学生向けの採用情報はウェブサイト等で入手可能
- 研究室に先輩がいれば向こう数年のキャリアはイメージできる一方で、
 - 得られる個別事例が少なく、キャリアの多様性が見えづらい**
 - 長期的にどのような活躍ができるのか不明瞭**
 - 理工系・研究開発職以外のロールモデルの不足**



多様なロールモデルの“職務経歴書”を集めた事例集を作成

●×株式会社
博士 人材
博士（△△学）



キャリアの転換点

博士課程学生に向けたひとこと

●×株式会社採用情報

採用情報

博士人材の処遇

博士人材に向けたアピールポイント

職務経歴書

職名	職務内容

活躍したエピソード

多様なキャリアパス・企業の魅力を周知

1. 企業に対する事前調査

ロールモデルを募集、Formsにて実施（所要20分程度）

質問例

Q. 貴社で活躍されている博士人材の活躍がわかる具体的なエピソードを簡単にご教示ください。
（2,3行程度、複数エピソード可）

特に、

- 博士人材が深い専門知識を生かして、新規事業開発や収益向上をもたらした例
 - 博士人材が課題発見・解決能力などの汎用的能力を生かして研究開発以外の業務で活躍している例
 - 博士人材が入社後に、博士号を取得した専門分野とは異なる分野で専門性を身に付けて活躍している例
 - 博士人材が、博士課程における国際的な経験を生かしてグローバルに活躍している例
 - 人文社会系など、理工系以外の博士人材が活躍している例
- があればご教示ください。積極的に事例集に取り上げさせていただきたいと考えております。

2. 博士人材ロールモデルへのインタビュー（アンケートと並行して実施）

ロールモデルとなる方のキャリアにおけるエピソードを収集

インタビュー内容（抜粋）

- これまでのキャリアパス、特に印象深い業務の詳細、エピソード
- ご自身のキャリアパスについて、キャリアの転換点（アカデミア→民間、研究→管理職、専門分野の転向など）となった時があれば、その時のエピソードなど

3. 事例集掲載企業の博士人材に向けたPRを収集

ロールモデルとなる方が働いている企業の、博士課程学生に向けたアピールポイントも掲載

掲載内容（例）

- 博士人材採用のための取組・工夫
- 博士人材の処遇
- 博士人材に向けたアピールポイント

これらをもとに事例集作成、HPに公開、大学等へ配布

博士人材が深い専門知識を生かして、新規事業開発や収益向上をもたらした例

博士 × 「実行力」

写真

○○ ○○ 博士(理学)

役職

✔ 血管造影蛍光イメージングプローブの生体内挙動に関する研究をし、博士号(理学)を取得。

企業の中核となる経営戦略の新規事業立ち上げやマーケティングプロモーションなど様々な部署を経験。徐々に専門領域での認知度が上がり、専門書の執筆や講演を依頼されるようになる。

海外での講演を依頼された際に自身のみMr.と呼ばれているのが推薦してくださっている教授や研究者に申し訳ないという思いから、社会人ドクターとして博士号取得を決意。

島津製作所で働きながら驚異の3年で学位取得を果たし、現在はプロダクトマネージャーとして活躍。自身の置かれた環境を最大限活かし、積極的に自分からアクションを起こすことが大事と語る。

学生へのメッセージ

修士から博士にそのまま進むストレートドクターと企業等で働いてから学位を取る社会人ドクターとあり、それぞれメリット・デメリットがある。博士課程中に中退して就職することも人生の選択肢として正しい選択の1つである。自身が何に向いているのか、逆に向いていないのか判断し、自分の専門領域の能力はとがらせ、自身でアクションを起こすことをぜひ忘れずに行って欲しい。

經歷

(年度は任意) 役職

具体的な仕事内容

博士人材が課題発見・解決能力などの汎用的能力を生かして研究開発以外の業務で活躍している例

博士 × 「視野の広さ」

写真

○○ ○○ 博士(理学)

役職

☑ 量子ビームの複合利用による超伝導体の物性に関する研究をし、博士号(理学)を取得。

博士課程卒業後新卒で入社し、入社後5年目という若手でありながら、専門である物性物理学の知識を活かしながら、博士時代に培った、背景にある課題解決能力や分野の隔たりなく取り入れられる汎用的思考力を活かし、営業と連携した顧客開拓という研究とは異なる業務でもご活躍。

島津製作所では新卒でも博士人材を採用しているだけでなく、社会人ドクターも含め、多くの博士人材が活躍している中、イノベーション創出手法や経営的な観点も含め、自身の強み、カラーを出すべく、学位を取得したら終わりではなく、その次を見据えて日々努力していると語る。

学生へのメッセージ

博士課程の間だからできることを大切に、自分はここまでしかやらないと壁を作るのではなく、周りの人に良い影響をもたらすスキルを培うのは重要。専門性は企業に入社しても絶対に活かすことができるので、理工系・人文系問わず、ご自身で興味をもっていること、専門性をきわめて欲しい。

経歴

(年度は任意) 役職

具体的な仕事内容

島津製作所との出会い(Aさん)

社会見学もかねて参加した博士人材を対象とするジョブフェアにて、偶然島津製作所のユニット長から声をかけられたのが出会い。元々はアカデミアを目指していたが、ユニット長の人柄と意見交換から学ぶことが多く入社を決意。

社会人ドクターとしての過ごし方(Bさん)

上司の理解が得られ、島津製作所の社員として大学院に入学し、また、共同研究先の研究所の研究員、そして博士課程学生と3つの身分を持って、フレックスタイムで働きながら学位を取得。大学院は社会人ドクターであっても厳しいもので、週末も単位取得のため必死に勉強した。

自分の強みの理解とポジショニングが大事(Bさん)

学会や普段の研究者とのかかわり方において、アカデミアの世界では著名な先生に若手の先生がアクセスするのは難しいこともある。社会人ドクターの場合、企業の人間として扱われるため、先方も親切に対応してくれるのが強み。学会で積極的に質問し、その場で名刺交換して連絡先を入手してメールでもコミュニケーションをとっている。

博士に行って良かったこと(Aさん、Bさん)

留学生を多く受け入れる研究室だったため、ドクターコースの人のコミュニケーションツールは英語だった。社会人からの学びなおしは何か目的がないとモチベーションの維持が困難。博士課程に進学し、優秀な学生と対話するために強制的に勉強できたのは社会人ドクターに行って良かったと思う。

博士まで経験したからこそ、入社してから自身の専門分野を応用できた。また、大型施設で研究していたバックグラウンドから、分野隔たりなくコミュニケーションができています。営業と連携して顧客ニーズの調査をする際、お客様も博士号を持っているなか、背景を把握した上でお客様の抱えている課題の深くまで理解し、同じ専門家として議論できるのは学位を取って良かった点と思う。

会社情報



採用情報へのアクセス(HPの採用ページ)

採用ページ	https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/recruit/graduate/index.html
企業トップページ	https://www.shimadzu.co.jp/
ほぼ2分でわかる島津製作所	https://youtu.be/Ar6f0qcyqbg?si=iNV6lOMuV2IXlw61



貴社における博士人材の処遇について

初任給(2024年度)	博士了308,930円
昇給	年1回(4月)
賞与	年2回(6月・12月)
休日休暇	完全週休二日(土日)、祝祭日、GW、夏季・年末年始など
勤務時間	一部部門を除きフレックスタイム制



貴社のアピールポイント
(特に博士人材に向けたもの)

島津製作所における博士人材は、基礎研究だけでなく製品開発でも活躍頂いております。
工学だけでなく、医学、薬学、理学、農学など、様々な分野の博士が分析計測機器や医用機器、産業機器等のハードウェア開発、ソフトウェア開発、アプリケーション開発および基礎研究や要素開発を行っております。
当社で活躍している博士は、自ら課題を設定し、それを主体的に解決していけるという、博士として24時間×365日×3年間鍛え続けられた基礎能力を十分に発揮できる能力をもった方です。
アカデミックに偏ることなくインダストリアルな志向もバランスよく備えた方となっており、そんな皆様が存分に活躍いただけるフィールドを準備してお待ちしております。

博士人材が深い専門知識を生かして、新規事業開発や収益向上をもたらした例

博士 × 「ゴールイメージを持つ」



〇〇 〇〇 博士(理学)

役職

不凍糖タンパク質の構造活性相関研究により、
博士号（理学）を取得。

塩野義製薬株式会社入社以降、薬の“タネ”を探索する Medicinal Chemist として活躍。コロナウイルス感染症の治療薬「エンシトレルビル」の開発に立ち上げから関わり、通常 5 年かかると言われる薬の候補品の探索を半年で終え、エンシトレルビルのもととなる化合物を創出した。現在は事業開発部長として自身で直接研究は行っていないが、研究よりもスパンが短いという違いがあるものの、仮説を立てて証明するためのアクションを取るという仕事の本質は変わらないと語る。

これまでの蓄積の上にゴールイメージをすることで新薬開発

エンシトレルビルを短期間で開発できた要因はいくつかある。
一つ目はSHIONOGIには感染症に強いというバックグラウンドがあり、北海道大学との共同研究もあって化合物を合成して評価できる環境が整っていたこと。
二つ目は、他のウイルスでプロテアーゼ創薬研究の蓄積があったこと。
三つ目は、自分自身がずっとタンパク質の構造情報を用いた創薬のノウハウを蓄積してきたこと。
最後にこれに加えて、薬のタネを見つけてからどのように薬に持っていくか、どのようなデータを集め、活用するか、最初にゴールイメージを描くことができたことも大きかったと思う。それまで日の目を見なかった創薬基礎研究の蓄積と数多くの失敗があったからこそ、コロナでのスピード創薬に対応できたのだと思う。

学生へのメッセージ

みなさんには、学生時代から”逆算思考を持って研究を進めること”をお勧めしたいです。
私は入社 3 年目で創薬の部署に移った際、上司から「ゴールイメージを持つ」と言われたことがきっかけで、常に頭の中で作りたい薬のゴールイメージを持ち、逆算してどのような行動をとればよいか考えることが習慣化されました。さらに、エンシトレルビルをいかに早く開発するかという経験の中で、自分の頭の中にあるゴールイメージを可視化し、一日単位の工程まで落としこみ、周りの人にも共有することで、不可能と思われることでも可能にすることができたと学びました。目標を可視化することは企業に限らずどこでも重要です。博士課程学生の皆さんも、ゴールイメージをもって目標を立てながら自分の研究を進めてみてください。

経歴

(年度は任意) 役職	具体的な仕事内容

■ 試行錯誤の楽しさに惹かれ大学院へ進学

学部時代に入った糖鎖化学の研究室で、自分で実験の結果を見て次にどう条件を変えるか考え、上手くいったりいかなかったりと、試行錯誤することに面白見を感じた。
元々大学院に進むことを考えていたが、教授の勧めもあり、北海道大学の大学院に進んだ。

■ 自分が作ったもので世の中を変えるために企業へ

自分の作ったもので世の中を変えたい、人助けしたいという気持ちが強く、大学院に進学する時点で企業への就職を心に決めた。
塩野義製薬には、大学院の指導教授が共同研究をしていた縁で入社を決めた。

■ 探索活動が好きなのが強み

自分で調べるのが好きで、論文を読んで面白そうなことを試すといった、自分で考えてアクションを取るということが好き。
あとは、研究が好きで、ゲーム感覚で粘り強く試行錯誤を繰り返すことができるのが強みというか特長だと思う。この自分の特徴には、大学4年生で研究室に入ってから初めて気が付いた。

■ 自らの研究にプライドを持つ

成果物がなかなか出ないので評価はされなかったが、新しい技術を試すことは好きで、一番難しい、基盤をつくる部分をやっているというプライドをもって研究していた。

■ 塩野義製薬には自由に成長できる風土がある

SHIONOGIには自由に学び、研究し、成長できる風土があり、主体的に成長していきたい人におすすめできる会社。また、感染症創薬に強みがあり、世界一といえる薬を作っている会社なので、感染症に興味がある方はもちろんだが、新しい疾患領域にも、パートナーリングを活用するなどして積極的にチャレンジしているので、世の中にないものを自分で作り上げたい人にもお勧めしたい。



採用情報へのアクセス(HPの採用ページ)

採用ページ	https://www.i-note.jp/shionogi/recruiting/top.html
企業トップページ	https://www.shionogi.com/jp/ja/



貴社で行われている博士人材採用のための取り組み

- ①博士後期課程学生のみを対象とした採用選考を実施
- ②研究インターンシップを実施

ジョブ方研究インターンシップ推進協議会ページ	https://coopj-intern.com/
------------------------	---



貴社における博士人材の処遇について（2025年4月見込み）

初任給	310,000円（修士了280,000円）
給与改定	年1回
賞与	年2回
休日休暇	休日：日曜日、土曜日、祝日、年末年始など。 休暇：年次有給休暇、慶弔休暇、ボランティア活動休暇、骨髄移植ドナー休暇など。
勤務時間	フレックスタイム制



貴社のアピールポイント

（特に博士人材に向けたもの）

- ①SHIONOGI WAY「他者を惹きつける強みを持ち、貪欲に知識とスキルを高めつつ、積極的に挑戦しやり遂げる人」
- ②自社創業比率66%（2024年6月時点）
- ③自己投資支援制度（年間25万円まで従業員の学び・挑戦を会社がサポート）

博士人材のように高い専門性を持ち、成長し続けながら、社会課題を解決したい方にお勧めの環境です。